

【様式】

平成30年度 学校マネジメントシート

学校名（南伊勢高校 度会校舎）

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		○自らの力で自分の将来を切り開き、地域社会に貢献するひとを育成する学校
(2)	育みたい 児童生徒像	○自立に向け、基本的な生活習慣と基礎学力を身につけた生徒 ○自分の夢を明確にし、希望する進路に向け、自ら努力し続ける生徒 ○自他の命を尊重し、差別をなくす実践力と高い自己肯定感を有する生徒
	ありたい 教職員像	○共通認識のもと、生徒に寄り添い、生徒の個性を最大限伸ばさせる教職員 ○小規模校・校舎制の利点を活かす新しい発想を創造し実践する教職員 ○地域と共に歩み、地域から信頼される学校づくりを行う教職員 ○県立高等学校活性化計画（平成29年3月）をふまえ、活力ある教育活動を展開する教職員 ○総勤務時間縮減を意識し、ワークライフバランスを大切にする教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		<p><生徒・保護者> 基礎学力の定着。規律ある充実した学校生活。希望進路の実現。</p> <p><地域社会> 将来的に、地元地域で生活し、地域社会に貢献できる人材の育成。</p> <p><中学校> 学習面、生活面での中学校からの指導の継続。将来自立できるための力の育成。取組内容の中学生及びその保護者への浸透</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待		連携する相手への要望・期待
	<p><保護者> 学力向上。確かな進路保障。 学校との信頼関係。</p> <p><町・町教育委員会> 地元地域の活性化を担う人材育成。 生徒の進路保障。</p> <p><地元企業等> 将来的に、地元地域に勤め、地域社会を支えてくれる人材の育成。</p> <p><地域活動団体> 生徒による地域の活性化への貢献。</p>	<p><保護者> 学校と連携した家庭での生活指導・学習活動への協力。</p> <p><町・町教育委員会> 地元中学校との連携を円滑に進めるための協力。地元への就職支援。</p> <p><地元企業等> インターンシップ等教育活動への協力。 地元企業の採用増加。</p> <p><地域活動団体> 生徒が活躍できる多様な機会の提供。</p>	
(3) 前年度の学校関係者評価等		<ul style="list-style-type: none"> ・他者理解力を高めるためにも、自己表現する機会を増やすと良い。 ・チャレンジする心の醸成を望む。 ・いじめ件数が大変少なく内容も軽微で即時解決していることが評価でき、継続を望む。 ・普通教室へのエアコン設置等学習環境の改善を望む。 ・中学校との部活動を通しての交流は、中学生にとって良い影響を与えており、継続を望む。 	
(4) 現状と課題	教育活動	<p>多様な生徒が在籍するなかで、基礎基本の定着を大切にした教育の実践と生徒一人ひとりへのきめ細かな指導により、地域から一定の評価を得ている。</p> <p>また、福祉活動や「出前図書館」など地域と連携した取組を推進している。</p> <p>今後、少人数教育を行う中で、メリットをより活かし、デメリットを最小限にする教育活動方法を構築する必要がある。</p>	

キャリア教育の充実	<p>(1) 将来にわたり社会への貢献を考えさせるとともに、就職内定、公務員試験合格、進学志望校合格 100%を目指します。</p> <p>(2) 社会人として必要な態度・マナーを修得させます。</p> <p>(3) 自らの適性を理解し、将来を考え、自己肯定感を持って日常生活に臨むとともに、生きることの尊さ、生命のかけがえなさを理解し、自他の生命を尊重する姿勢を育てます。</p>	※	◎
改善課題			
(年度末に記載)			

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
組織運営	<p>(1) 総勤務時間の縮減に努めます。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定時退校日の設定 月あたり1日及び8月を強化月間 ・ 放課後に開催され 60 分以内に終了する会議の割合を 90% ・ 部活動休養日を週に1日 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間外労働時間を月あたり4時間削減 ・ 休暇取得日数を年あたり1日分増加 ・ 月80時間を超える時間外労働者を0人 	(年度末および適宜記載)	※ ◎
資質向上の取組み	<p>(1) 教職員等を対象とした人権教育研修を行います。</p> <p>(2) 特別支援教育についての研修会を実施し、生徒の実態に即した対応が出来るようにします。</p> <p>【活動指標】 人権講演会…年1回、 特別支援教育研修…年1回</p>		※
情報提供による信頼の構築	<p>(1) ホームページによる情報提供</p> <p>【活動指標】 ホームページの更新 年間10回以上</p> <p>(2) 授業公開、学校見学会等の実施</p> <p>【活動指標】 年間2回</p> <p>(3) 業務改善により、効率的で質の高い学校経営を目指します。</p> <p>【活動指標】 共有ホルダーを利用して、分掌業務の文書や行事記録等を保存し、全職員の情報共有をすすめます。</p>		※

	<p>職員会議等で常に情報共有を行い、改善課題の整理等全職員で共有を図ります。</p> <p>【活動指標】年5回以上</p>		
--	--	--	--

改善課題			
(年度末に記載)			

5 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	(年度末に記載)
----------------------------	----------

6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	(年度末に記載)
<p>学校運営についての改善策</p>	(年度末に記載)